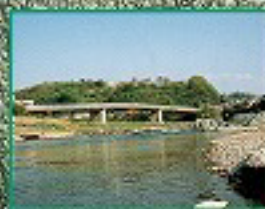


# しもいち わりばし

美林から生まれる  
高級杉箸



箸作りは森林の環境保全に役立っています



大和の箸箸は寛政8年に、吉野の樽丸(酒樽)の端材である木皮丸(こわまる)を材料に、大和下市で生産をはじめました。端材が捨てられるのを惜しんで考案された有効利用の地場産業です。

以来200有余年、木材の用途こそ建築材に変わりましたが、箸箸の素材は同じです。脅威とよばれる端材の中から、木目とつや、形、割裂性(割れ方)などを吟味して選ばれます。

いつまでもなく箸箸は、日本の食文化、とりわけ外食には欠かせない道具。機能と便利と、清潔で衛生的であることから注目されはじめています。

環境保護の立場から、ささやかながら緑の資源を守る一翼を担いつつ進んでいるのが箸箸産業です。

下市町商工会



# 商工会にご相談ください

商工会は「法律」に基づいて国・県の認可により設立された公益法人で、地域商工業の発展ばかりでなく、地域全体の社会福祉にも貢献する総合経済団体です。

各市町村には商工会または商工会議所が原則として一つずつ設置されています。



## 商工会で受けられる主な相談内容



**税務** 税金のことや節税の方法などを知りたいとき

**経営** 経営診断や創業・経営革新について

**金融** 事業用資金を調達したいとき

**法律** 紛争の法的解決の方法を知りたいとき

**労務** 労災・雇用保険、就業規則など労使関係について

**取引** 取引関係を上げたいとき

**経理** 帳簿のつけ方や決算、パソコン会計などについて

**その他** パソコンによる情報化促進、知的財産権などについて

■常時ご相談をお受けしています。

## 中小企業者のための…

### 総合火災共済

**あなたの企業をまもる安心プラン**  
格安の掛金で幅広く共済金が支払われます。

火災・落雷・破裂または爆発・物体の落下・衝突・デモ等の損害・水漏・盗難等

#### ■対象となるもの

- 住宅、店舗、事務所などの建物その他不動産
- 家財、設備、装置、機械、工具、什器、商品、原料、半製品その他の動産

### 自動車事故 見舞金共済

被害者への補償は保険でまかなえます。  
あなた（契約者）の経済的負担は、どうですか…？

**加害者・被害者・自損事故を問わず、  
あなた（契約者）に共済金をお支払いします。**

#### ●保障金額（詳しくは地域商工会へ）

死亡共済金…300万円 後遺障害共済金…10～300万円

医療共済金…1日につき 入院:3,000円 通院:1,500円

#### ●共済掛金（年額）

自家用軽乗用車・軽貨物車…5,000円

自家用普通車・自家用小型貨物車…10,000円

自家用普通貨物車（2t以下）…15,000円

●地域商工会にご連絡いただきましたら、奈良県火災共済協同組合の職員と商工会職員が見取りにお伺いします。







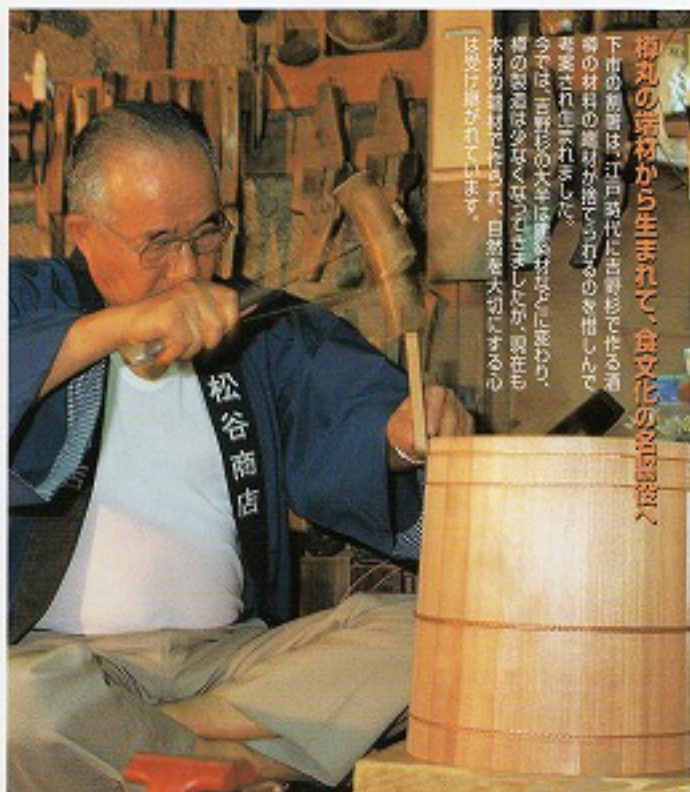




# 下市は わりばしの 発祥の地です。



梅丸の端材から生まれ、食文化の発展と共に  
下市の商賈は、江戸時代には加賀藩で作られた  
等の材料の端材が捨てられるのを惜しんで  
製法で生まれ、  
多くは、加賀藩の大名は、加賀藩に上納したり、  
藩の製造は少なくはなりましたが、加賀藩の  
木材の端材で作り、口遊を大切に守る心  
は受け継がれていました。



# 杉 箸



## 杉箸神社

毎年8月4日(巻の日)に、巻供養祭が盛大に開催  
されます。



## 下市札と初市

現在、2月12日から行われている初市(或  
祭)は往時の名残りであり、かつては  
梅丸2-7日を市場日としてお祭りが行  
われ、たいへんにぎわっていました。かつては  
経費の持ち運びが不自由であった  
ため、商人たちが紙に金額を書き  
付け「切手」と物として発行したものが  
下市札で、日本最初の手形とされて  
います。



## 初市

約350年の伝統を誇る大和の三大えびすの一つに挙げられ  
る祭典。商人の神として、毎年2月12日に南和地区の大祭典  
として、近郷近在および中和地区からの参拝客で賑わい、露  
天商人が道路狭しと店を並べる。



# 伝統と自然のなかに 息づく産業。

吉野地域の玄關口に位置する下市町の産業は、豊かな自然を活用して発展を遂げてきました。町の総面積の七十九％を占める森林資源を活用した木工業が盛んで、とくに制箸の歴史は、南北朝以前にまでさかのぼる事ができるほど古く、伝統産業として定着しています。また、木工品として「三方（さんぽう）」神具、精納台、神酒の口、おひつ、おけ、集成材、銘木なども高い評価を受けています。

## 三宝・神具

三宝・神具はいにしえより下市において生産されていました。後醍醐天皇が、吉野に皇居を移されたとき、献上物の器として、三宝を用いたのが始まりとされ、豊富な吉野杉を加工した伝統産業です。良質杉材の白木地がもつ高貴な美しさがあり、ひろく親しまれ、生産がさかんです。



▲銘木



▲神酒の口



▲樹の木：杉



▲集成材



▲お社



▲樽丸



▲杉・杉材(製材)  
製材品(木材)



桶・おひつ・厨房用品  
豊富な吉野杉を利用して、徳川中期以後、伊丹、蒲、伏見などの芳醇な酒の器として発展しました。杉独特の木目と香りに伝統的な技術がいまもって愛好者が多い。

